

「European Transformation (欧州の変革)」のために、サステナブル投資をより容易にする必要がある

欧州は危機に瀕した際、しばしば自らを変革してきました。ウクライナ戦争、気候変動、高齢化、健康・エネルギー危機、主要原材料に対するアジアへの戦略的依存など、現在の循環的・構造的課題によって、ヨーロッパの繁栄と安全の基盤はもはや未来に適合するものではなくなっています。

欧州の企業は、スタグフレーション的金利上昇という環境下でさらに深刻化している構造的な課題を認識しておらず、その解決に着手していません。こうした複合的な課題に取り組む役割を担うのは投資家であり、そのほとんどが長期投資を追求すると謳っています。欧州の金融規制も、資本の動きが環境や社会に有害な影響を与え得ることから、主要な利害関係者です。

しかし上場市場においては、インセンティブが短期的かつ相対的な財務業績に向けられる傾向があります。欧州の大幅な経常黒字¹は生産的で持続可能な変革のための活動には使われず、インフレ率を下回るリターンとなっています。さらに、自らの資本が社会において持続可能かつ変革的な役割を果たすことを望むサステナブル投資家は、規制面で不利な状況に置かれ、結果として伝統的なファンドに投資するよりも高いコストを払っています²。

市場にある多くのファンドは、投資家の資本と影響力を使って現実の社会と環境の改善を推進するのではなく、炭素集約型企業の売却³や、すでに比較的環境に配慮した不動産の取得⁴を主に行っているようです。

欧州が過去数十年間に達成したレベルと同等の(または理想的にはそれを上回る)繁栄を望むのであれば、政策立案者、金融機関、企業による力強い変革への取り組みが今必要とされます。具体的には、欧州の変革にはサステナブル投資家を少なくとも金融投資家と同等に位置づけるような枠組みが必要です。そのために我々は、例えば、米国で頻繁に活用されているように、インフラや不動産への投資に対し税制優遇措置を講じることを提言します。

しかし投資家や企業は、何もしないことの言い訳として規制の陰に隠れてはいけません。欧州が持続可能な高水準の繁栄を実現するためには、2023年にその基盤を強化し、未来にふさわしいものにしなければなりません。「欧州の変革」は政治的なものに見えるかもしれませんが、投資家が決定的な役割を担っているのです。欧州はもう一度、自らを変革しなければならないのです。

「European Transformation (欧州の変革)」に関するレポート(英語)は[こちら](#)をご覧ください。

1 ECB 2022, cited in DWS Research Institute 'A Framework for European Transformation', 2022, page 12 and 15; <https://www.dws.com/insights/global-research-institute/a-framework-for-european-transformation/>

2 Source: DWS Research Institute 'A Framework for European Transformation', 2022, page 22

3 Goldman Sachs Equity Research (October 2022) cited in DWS 'A Framework for European Transformation', 2022, page 21

4 INREV (January 2023). Falling through the cracks: SFDR's impact on real estate investment

ご留意事項

当資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の投資商品の推奨や投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとに DWS グループが作成・発行したものをドイツ・アセット・マネジメント株式会社が翻訳して提供しておりますが、正確性・完全性についてドイツ・アセット・マネジメント株式会社が責任を負うものではありません。日本語訳とオリジナル英文資料の内容に相違がある場合には、英文資料の内容を優先します。当資料に記載の見解や見通し等は作成時点のものであり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

DWS グループ

DWS グループ（以下DWS）は、約8,210億ユーロ（2022年12月末時点）の運用資産残高を誇る世界有数の資産運用会社です。60年以上の運用実績を有し、ドイツおよびヨーロッパ各地、アメリカ、アジアにおいて優れた運用体制への評価を確立してきました。そして現在、DWSは世界のお客さまから、資産運用のあらゆる分野における総合的なソリューション、持続性および革新性を提供する運用会社として信頼を集めています。

DWSは個人および機関投資家のお客さまに対し、その強固な運用体制を基盤として、すべての主要な資産クラスへのアクセスと成長トレンドを適切に捉えた資産運用ソリューションを提供します。アクティブ、パッシブそしてオルタナティブ運用における多岐にわたる専門性と、ESG（環境、社会、企業統治）投資における積極的な取り組みは、お客さまの期待に応えるソリューションを提供する上で補完的な役割を果たします。エコノミスト、リサーチアナリスト、運用プロフェッショナルが有する専門性と現地に根ざした調査は、DWSのグローバル投資見通しである「CIO View」に集約され、それが戦略的な運用アプローチ策定の根幹となっています。

DWSでは約3,800人のスタッフが、一つのグローバル・チームの一員であるという高い意識を持ちつつ、各国・地域に精通する専門家として活躍しています。我々は資産運用に革新をもたらし、未来に向けた資産運用ビジネスを形作ることを目指しています。

ドイツ・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第359号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ドイツ・アセット・マネジメント株式会社は、DWSグループの日本における拠点であり、投資信託ビジネス・公的年金・企業年金運用の長年にわたる経験、ノウハウ及び実績を有します。グローバルな運用体制と独自の洞察力を駆使した質の高いサービスをご提供するとともに、日本市場の資産運用ニーズに的確にお応えすることを目指します。